

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【公表番号】特表2012-508380(P2012-508380A)

【公表日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-014

【出願番号】特願2011-535668(P2011-535668)

【国際特許分類】

G 01 N 21/17 (2006.01)

【F I】

G 01 N 21/17 6 2 5

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月28日(2013.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも一つの電磁放射を提供するように構成された少なくとも一つの第一の構成、ここで、該少なくとも一つの第一の構成によって提供される放射の周波数は経時的に変化する、及び

(i)該少なくとも一つの第一の電磁放射又は(ii)少なくとも一つの更なる放射の少なくとも一つである放射の少なくとも一つの部分を、差分直交状態を有する第二及び第三の放射へと分離し、かつ、少なくとも一つの第一の特性を該第二の放射に与え及び少なくとも一つの第二の特性を少なくとも一つの第三の放射に与える(ここで、該第一の特性及び第二の特性は互いに異なっている)ように構成された少なくとも一つの第二の構成、を含む装置。

【請求項2】

前記少なくとも一つの第一の電磁放射を偏光解消することにより、前記少なくとも一つの更なる電磁放射を生じるように構成された少なくとも一つの第三の構成、ここで、前記少なくとも一つの第二の構成は、前記少なくとも一つの更なる放射に基づいて前記第二及び第三の放射を生じるように構成されている、

をさらに含む請求項1に記載の装置。

【請求項3】

(i)少なくとも一つの第四の放射及び(ii)前記第二及び第三の放射間の干渉を受信又は検出し、かつサンプルから反射した放射に基づいて該サンプルのジョーンズ行列要素の少なくともいくつかを決定するように構成された少なくとも一つの第四の構成、をさらに含む請求項1又は2に記載の装置。

【請求項4】

前記少なくとも一つの第四の構成が、前記サンプルの全てのジョーンズ行列要素を決定するように構成されている、請求項3に記載の装置。

【請求項5】

前記少なくとも一つの第四の構成が、前記第二及び第三の放射を同時に受信又は検出するように構成されている、請求項3又は4に記載の装置。

【請求項6】

前記サンプルから反射した放射が、同時に受信される、前記サンプル内の少なくとも2

つの異なった位置から提供される、請求項 3 ~ 5 のいずれか一つに記載の装置。

【請求項 7】

前記少なくとも一つの第一の特性が、前記第二の放射の第一の周波数シフトであり、かつ前記少なくとも一つの第二の特性が、前記第三の放射の第二の周波数シフトである、請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の装置。

【請求項 8】

前記第一及び第二の周波数シフトが互いに異なる請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

前記少なくとも一つの第一の構成がエネルギー源構造である請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の装置。

【請求項 10】

前記エネルギー源構造が、前記少なくとも一つの第一の放射の波長を素早く調整する掃引源構造である、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 11】

前記少なくとも一つの第二の構成が、少なくとも一つの音響光学モジュレーター構造を含む請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の装置。

【請求項 12】

前記少なくとも一つの第二の構成が、更に、前記第一及び第二の特性が提供された後に、前記第二及び第三の放射を重なり合わせる又は再結合するように構成されている請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の装置。

【請求項 13】

前記少なくとも一つの第四の構成が、更に、前記干渉をそれぞれ第一及び第二の偏光状態を有する追加の放射へと分離するように構成されている請求項 3 ~ 6 のいずれか一つに記載の装置。

【請求項 14】

更に、少なくとも一つのジョーンズ行列要素の関数として少なくとも一つのイメージを作成するように構成されている少なくとも一つの第五の構成を含む請求項 3 ~ 6 のいずれか一つに記載の装置。

【請求項 15】

少なくとも一つの第一の電磁放射を提供すること、ここで、該少なくとも一つの第一の放射と関連する放射周波数は経時的に変化する、及び

(i) 該少なくとも一つの第一の電磁放射又は(ii)少なくとも一つの更なる放射の少なくとも一つである放射の少なくとも一つの部分を、差分直交状態を有する第二及び第三の放射へと分離し、かつ、少なくとも一つの第一の特性を該第二の放射に与え及び少なくとも一つの第二の特性を少なくとも一つの第三の放射に与える(ここで、該第一及び第二の特性は互いに異なっている)こと、

を含む方法。

【請求項 16】

更に、前記少なくとも一つの第一の電磁放射を偏光解消することにより、前記少なくとも一つの更なる電磁放射を生じることを含む請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

(i) 少なくとも一つの第四の放射及び(ii)前記第二及び第三の放射間の干渉を受信又は検出すること、かつサンプルから反射した放射に基づいて該サンプルのジョーンズ行列要素の少なくともいくつかを決定すること、

をさらに含む請求項 15 又は 16 に記載の方法。

【請求項 18】

前記決定手段が、前記サンプルの全てのジョーンズ行列要素を決定することを含む請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

前記第二及び第三の放射を同時に受信又は検出する、請求項 17 又は 18 に記載の方法

